



第28回地域医療構想に関する ワーキンググループ	資料3
令和2年11月5日	

(令和3年5月12日一部改変)

当院におけるコロナ重症患者対応

東京医科歯科大学医学部附属病院
病院長補佐・集中治療部
若林 健二



東京医科歯科大学医学部附属病院 (TMDU)

全753床 (一般病床 712床)

- ICU 26床、HCU 24床
- 手術件数 8,680件 (2018年度)
- 1日平均外来受診者 2,250名/日 (2018年度)

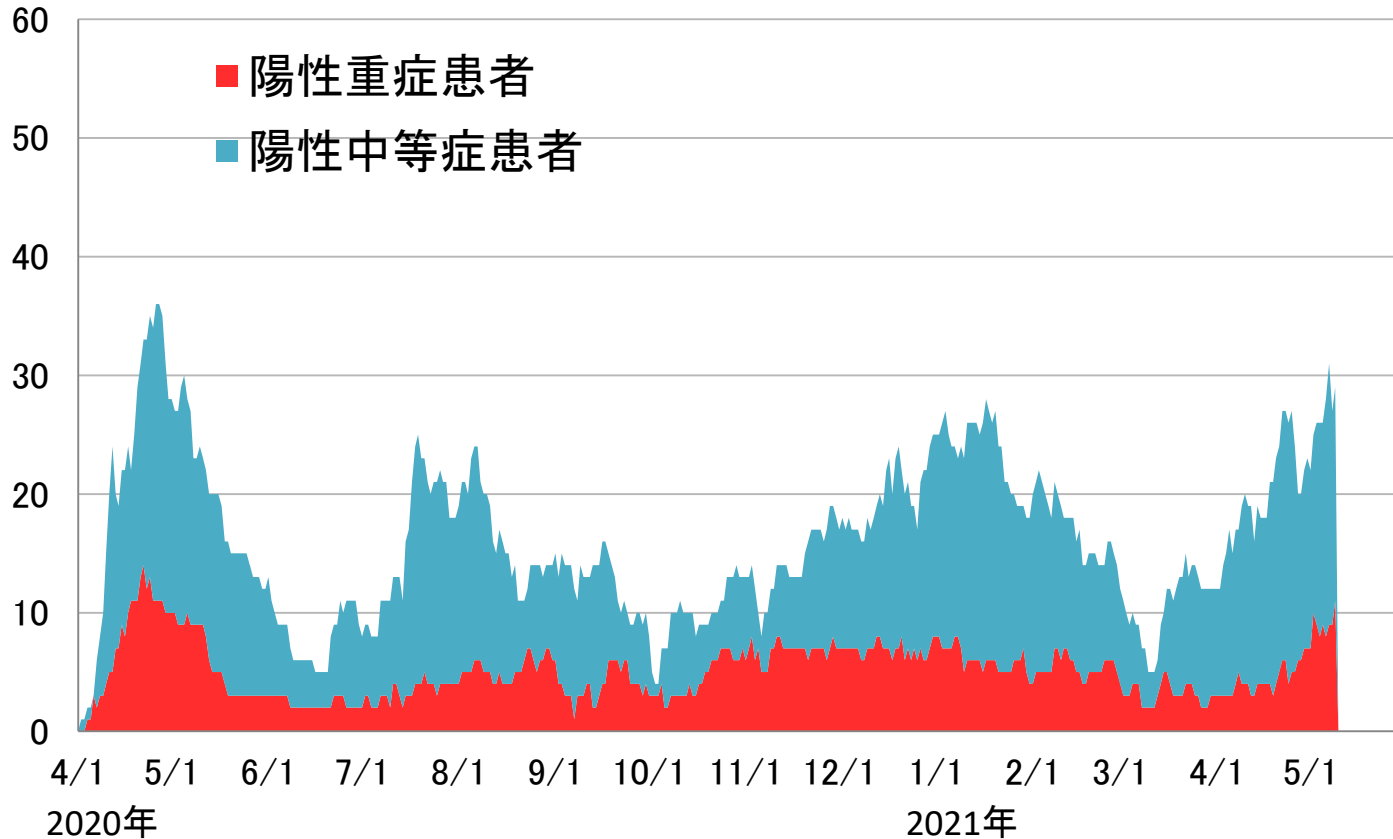
地域別患者数

- 23区内 約60%
- その他都内 約8%
- 埼玉県 約13%
- 千葉県 約10%
- 神奈川県 約5%
- 茨城県 約2%





対応の実際 - 陽性病棟入院患者数



【東京都重症基準】
人工呼吸管理または ECMO を使用している患者



病床の転換状況 (6月1日時点)

○医学部附属病院の病床について (病院全体) **753床**

● 休止病床 **230床**

病棟	B-2 (精神科)	A11	A13	ER-HCU	コロナ病棟の 休止分
病床数	41床	48床	40床	16床	85床
計	230床				

● 歯学部附属病院 診療休止

緊急性のある疾患
(悪性腫瘍や重篤な急性炎症等) 以外

● コロナ対応病床 **90床** (最大)

看護師配置換え

病棟	元病床数	コロナ対応に 転換後	5/11 入院実数	6/1 入院実数	対象患者
ER-ICU	14床	12床	5	3	重症患者
ICU	12床	10床	4	0	
A-9	41床	21床	7	0	中等症患者
B-10	46床	22床	7	12	
A-10	43床	16床	4	0	疑い患者
B-9	19床	9床	3	3	
計	175床	90床	30	18	

● 一般 (非コロナ) 病床 **433床**

入院患者実数は救急・手術休止のため200人前後



病床の転換状況 (9月23日時点)

○医学部附属病院の病床について (病院全体) **753床**

● **コロナ対応病床 52床**

病棟	元病床数	コロナ対応に 転換後	対象患者
ICU	12床	12床	重症患者
B-10	46床	25床	中等症患者
A-9 (RI含む)	45床	15床	疑い患者
計	103床	52床	

● **休止病床 82床**

病棟	ER-HCU	B9	コロナ対応病棟の 休止分
病床数	16床	15床	51床
計	82床		

総計 : 134床

● 一般 (非コロナ) 病床 **619床**



ゾーニングの実際

4月



5月



7月



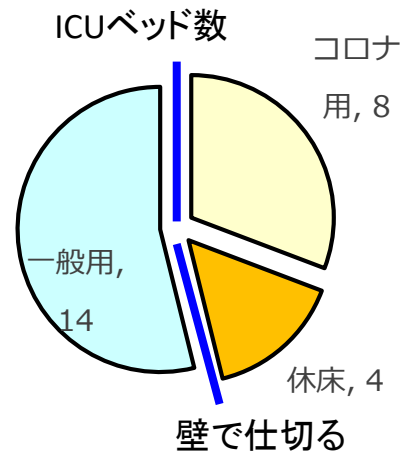


通常診療との両立を目指して 8月にICUを改修（コロナ用12床を確保）

壁の向こうの陰圧エリアはコロナ確定患者が入る
ガラス越しに見える陰圧エリアは防御服着用
手前のスタッフは防御服不要



疲弊を軽減するため4週間毎に交代





医学部附属病院 新型コロナウイルス対策の状況

○「バックヤード」の業務等の体制について

診療制限により手の空いた外科系医師・歯科医師に協力を依頼

- ・ テント診療の外回り
- ・ ER外来の夜間電話対応
- ・ 患者受入搬送、検査搬送、アンギオ介助
- ・ ICU清掃



○職員のメンタルヘルスケアサポート

- ・ 医師(精神科・心身医療科)
- ・ 面談実施数： >1000 (看護師、医師、コメディカル、クラーク、事務)

○歯学部附属病院からの支援

看護師：21名(57名中)、臨床検査技師：3名(5名中)、放射線技師：2名(7名中)

医病玄関トリアージ・クリーンルーム外来のコロナ専用外来化



重症コロナ陽性患者診療と地域連携

院内体制整備

- 一般病棟の病床確保
 - 一時期は稼働率半分以下を目指した転院調整・入院制限
 - 連携病院との取り決め

コロナ患者の地域連携体制整備

- 院内感染が発生した病院との連携
 - DMAT carを用いた搬送体制整備
- 重症患者の転院症例増加
 - 抜管後back transferする方針が徐々に定着

現状と今後の体制整備

- 合併症を有する陽性患者の増加
 - 心筋梗塞、脳出血、透析患者など
- 疑い病床逼迫の懸念
 - 「インフルエンザのみ陽性」患者の体制検討